「現役指導奮闘記」

さて、この度は、私が現役の指導を通じて感じたことを存分に綴ってみようと思います。

先ず、現役に対して何を念頭において練習をやっていこうかと頭をひねりました。「一番大切なこととは何か」を現役諸君に伝えることが必要なんだと思い指導を開始しました。監督を筆頭にコーチスタッフ陣のアドバイスや協力があればこそですが、今回は特に、リーダー部出身の佐々木君や松庫君の協力が非常に大きな力となりました。ご存知の通り、現在リーダー部は1,2年生主体で活動しており、そしてこの春から、吹奏楽部より3年生1名がリーダー部に加わりました。はっきり言ってリーダーの基本がさっぱりできておりません。なぜならリーダー体操、四股、突き、すべての練習において、「大切なこと」が抜けているのです。練習以外の団室内でも同様のものを感じました。とにかくリーダーは振れる。形は振れる。それは応援団としてのリーダーから程遠いものでした。昨年末には応援団の振りが出来ていたのに、今また振れなくなっているという状況に愕然としました。下手くそなのは当たり前です。幹部、準幹部ではないですから。うまいにこしたことはありませんが、応援団にとって一番大切なものは応援する気持ちです。がむしゃらに頑張る気持ち、統率力で一つになる気持ち、助け合う気持ち、そんな「気持ち」が「一番大切なこと」だと分からせてあげることに頭を悩ませました。

天神祭当日の船上には、行事をこなすために必死な現役の姿がありました。途中の半分頃まで「大切なこと」を感じ取ることができず、私自身不満足な状態が続きました。何かで切替えなければと焦りもありました。船上でリーダーを振ったOBの佐々木君、松庫君は私同様に応援団馬鹿です。それを見たとき、思いました。今の現役に足りないものは、優等生ですが、馬鹿なくらい熱く、突っ走る、失敗を恐れない、船の上のリーダーであるという自信、船にいるみんなを応援するそんな気持ち、が足りないことに気づきました。とにかく残りの半分はどんどん突っ走ってやらせました。がむしゃらに突っ走ってリーダーシップを発揮させてやりました。そのうち船が一つになっていったような気がしました。逍遥歌を終えて船を降りた時、成功か失敗かは現役一人一人が自分の胸に聞けば分かることだと思います。勝ち負けは頑張った自分自身で自分に対して白黒つければいいと思います。もし、今後、団員全員が「成功」「勝ち」という「気持ち」で一つになることができれば、本当の意味での「大切なこと」を成し遂げたことになると思います。まだまだ彼らとの奮闘は続きます。彼らには強い光と可能性がまだまだ秘められています。立派な応援団になれる希望が見えています。普段、現役と接点のなかなかとれない応援団を卒団していった諸先輩の方々、同期、後輩諸君、彼らに少しずつでも結構ですから「気持ち」を分け与えてあげて下さいます様、お願い申し上げます。「一番大切な」現役の一人一人の為に、皆様にお願いをして、私の奮闘記第一幕を終了させていただきます。

第49代　濱田　健一

天神祭　船渡御

なにわの夏の風物詩、天神祭りが、7月25日クライマックスの本宮を迎えた。

午後6時すぎ、市内中心部を流れる大川で、約100隻による船渡御が始まり、我ら「関大丸」は昨年に引き続き2年連続の参加となった。そして、関大、大阪大、神戸大の3大学の船がそろい、大学関係者が、法被を交換した。関大としてもこれ以上の同士なく、「3大学が連携して、関西の大学を盛り上げよう!」と一致団結した。

船上では約200名が乗船し、飲食を楽しみながら、『打ちまーしょう』と、大阪締めで盛り上がった。そして現役、OB合同の演舞演奏がくり広げられ、川沿いや橋上の見物客から、大きな歓声が上がった。

この船上での演舞演奏は、ずいぶん迫力があり、その力強さに圧倒され、皆の心が一つとなった。また午後7時からは、花火5,000発が打ち上げられ、船上から見る打ち上げ花火は、川面に輝くように映り、よりいっそうきれいで、真夏の祭りの醍醐味を味わった。その花火がちょうど頭上に上がった時は、火の粉がぱらぱらと降りそそぎ、スリルも味わえた。

天神祭 花火

大阪に生まれ育ちながらも、初めて参加した天神祭、そして関大丸に乗船でき、いろいろな感動を経験させていただいた。

またあらためて、日本の伝統行事のすばらしさを感じることができた有意義な一日であった。

第40代　樋口　弘三

長柄会会員「物故者一覧」

平成15年版会員名簿発行以降ご連絡を頂戴している方々（敬称略）

初代　辻田　準之助、望月　光信
2代　阪野　豊治
22年入学　堀　政男
23年入学　丹波　昭夫、辻元　文一、美藤　豊彦
9代　大石　憲二、山田　豊
10代　小林　長治郎、松井　正一
14代　礒田　勉、吉岡　貞治
15代　明松　正憲
19代　宮井　一夫
22代　尾崎　誠一
23代　神田　惇、武内　浩三
26代　芝田　英一

ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

昨年は安川先輩から担当を引き継ぎ、いろいろと先輩のご指導を仰ぎながら何とか発行にこぎつけたと言う状態だったが、今年はあまり先輩にご迷惑をお掛けせずに発行できた。と言ってもまだまだ先輩が作られた内容を踏襲するのが精一杯ではあるが……。来年こそはもう少しスケジュールに余裕を持ち、紙面もさらに充実したものにしていきたいと考えています。皆さんからの積極的な投稿ならびに改善要望やご意見をお待ちしております。

第36代　奥田　照夫

【今後の予定】

- ●10月20日（土）午後6時　第64回長柄会総会（新阪急ホテル）
- ●10月21日（日）午後1時　校友総会（BIGホール100・100周年記念会館）
- ●11月10日（土）　第35回事業部見学会
- ●11月23日（金）　二部応援団本部祭（豊中市民会館）
- ●11月下旬　長柄会ゴルフコンペ

押　忍

◆第２１号◆
関西大学応援団OB長柄会会報
●発行日／平成19年9月14日
●発行所／大阪市東住吉区針中野3丁目8番18号
中村司法書士事務所 内
関西大学応援団OB長柄会 事務局
●発行責任者／大谷 啓二
●編集責任者／奥田 照夫

長柄会総会のご案内

豪華景品が当たる　福引抽選会実施!

第64回長柄会総会　10月20日(土)

■受付/午後5時30分より
■総会開会/午後6時
■懇親会開会/午後6時30分
■会場/新阪急ホテル 2階「花の間」
大阪市北区芝田1-1-35 TEL.06-6372-5101

長柄会の第64回総会は、来る10月20日（土）新阪急ホテルにおいて開催されます。

昨年、大好評を博した福引大抽選会を今年も引続き実施します。

DVDレコーダーから商品券など、多彩な豪華賞品を今年も準備しております。加えて、当選確率も上げるため、より多くの賞品数を確保いたしております。

また、毎年実施しています現役、OB諸氏による演舞演奏も、盛大にかつ元気に楽しくやってまいります。OB諸兄の飛び入り大歓迎です。演舞演奏のみならず、隠れた特技をご披露して頂いても結構です。事前の準備が必要な場合は予め幹事までご連絡頂ければ、準備いたしますので、奮ってご参加ください。

そして、配偶者同伴やお子さん連れも大歓迎!隠れた一面を見せる事によって、家庭円満になる事間違いなしです。

会員各位のご出席を心からお待ち申し上げております。

（昨年の懇親会の様子）

会　費

初代～第４７代	1万円
第４８代～第５６代	8千円
第５７代以降	6千円
女性各代	5千円
同伴者	5千円

お願い

本紙をもって、総会及び懇親会のご案内に代えさせていただきます。誠に恐れ入りますが、ご出欠につきまして、**9月27日**までに同封のハガキにてご回報下さいますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

関西大学応援団 OB 長柄会
会長 **大谷啓二**

第64回長柄会総会及び懇親会を別記のとおり開催する運びとなりました。

昨年、関西大学も創立120周年を向かえ、今後ますます「強い関大」を目指し発展するものと確信しておりますが、そういった中にあって、「関西大学二部」という呼称が使えるのは今年度限りという状況になっております。現役の二部応援団の存続については、次期幹部となる3回生を中心に大学当局や一部応援団との議論が進んでいると聞いています。どのような形態になるのか我々、長柄会も現役の考えを尊重しながら見守っているところであります。

そして、OB会である長柄会はどうするのかと言う質問などを多くの諸兄から頂戴しております。当長柄会は関西大学二部の組織問題に拘わらず、大学4年間を共に二部応援団で過ごした仲間の集まりとして、永遠に存続いたしますので、どうかご安心ください。

さて、今年も総会の時期がやってまいりました。年に一度ではありますが、会員諸兄との膝つき合わせた中で祝杯を上げるのを非常に楽しみにしております。今年も昨年に劣らぬ景品やイベントを企画して皆様方のご出席をお待ちいたしております。

会員諸兄におかれましては、ご多用中のこととは存じますが何卒お誘い合わせの上、多数ご出席賜りますようお願い申し上げます。

ホームページ開設・更新中!

皆様からのアクセスをお願いいたします。
関西大学応援団OB長柄会ホームページ
http://www.geocities.jp/kandainagarakai/